

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**

## つばめ金属製品応援宣言



**新潟県 燕市**  
が応援するふるさと名物

- ◎ 金属洋食器
- ◎ 金属ハウスウェア
- ◎ 燕鋳起銅器
- ◎ 金属製品



## 新潟県 燕市

### 地域の プロフィール

越後平野のほぼ中央、新潟市と長岡市の中間に位置し、上越新幹線や北陸自動車道などの高速交通、主要国道が整備

-人口 81,802人  
(平成27年9月末)

-面積 110.96km<sup>2</sup>

### ◆ものづくりの始まり

燕市は、信濃川水系である大河津分水路をはじめ、中ノ口川、西川など豊かな水に恵まれるとともに、豊かな自然をたたえる国上山など、美しい自然景観が保持されています。

市内を流れる日本一の大河・信濃川は、広大な越後平野に豊かな実りをもたらす反面、度重なる洪水によって多くの尊い人命、家屋、田畑を流し去り、流域に壊滅的な被害を与えてきました。

燕の金属産業の歴史は、江戸時代初期、度重なる洪水によって困窮した農民を救済するための副業として始まった「和釘（わくぎ）」が始まりと言われています。江戸時代の中頃からは、鑢（やすり）、煙管（きせる）、矢立（やたて）、鋸起銅器（ついきどうき）など新たな特産品も生まれました。

さらに明治末期には、金属洋食器の生産が始まります。戦後は、日米貿易摩擦も経験しながら、ハウスウェアの製造やデザイン性の高い製品の開発にも熱心に取り組み、現代の生活にマッチした魅力ある製品や、生活に欠かせない金属洋食器や金属ハウスウェアを創り出し続けています。



和釘



煙管（きせる）



大正期に製造された  
スプーン・フォーク



# ふるさと名物の内容

## ◆デザイン性の高い「金属製品」

江戸時代の「和釘」をルーツとする燕の金属加工は、伝統的工芸品に指定されている「銚起銅器（ついきどうき）」や国内生産の9割以上を占める「金属洋食器」、食卓を彩る「金属ハウスウェア」など、時代とともにさまざまな製品を生み出しています。

銚起銅器の歴史は200年を数え、伝統的な技法を受け継ぎながら、現代的なデザインも取り入れ、国内だけでなく海外でも高い評価を受けています。

また、戦後の復興期、日本からの輸出品は、外国のデザインをまねたものが多かったので、産地をあげてデザインの開発に熱心に取り組みました。ノーベル賞授与式の晩餐会で使われるカトラリーを製造した企業が燕市内には存在しており、平成22年に開催されたAPECでも、市内の企業が開発したチタン製のカップが、首脳への贈答品や昼食時の乾杯グラスとして使用されました。

## ◆ものづくりを支える「金属加工技術」

これらの産業は、裾野の広い生産技術も生み出しました。金型製作、研磨、鍍金、発色、アルマイト等の表面処理、表面硬化処理、熱処理、スピニング加工、精密加工、さらにはプレス加工、プラスチック成形、木工、塗装、鍛造など、多岐にわたる技術分野が集積し、現在の燕の「ものづくり」は、多様な加工技術の高度化・複合化を遂げ、世界有数の産業集積地として、大きな可能性を秘めているとともに、今後もさらなる進化を続けていきます。

## ◆観光資源の可能性を秘めた「金属製品産業」

ものづくりのまち燕で作られる金属製品は、商品としてユーザーに喜ばれるだけでなく、その製造工程も「産業観光」としての魅力も秘めています。

平成25年から開催している「燕三条工場の祭典」は、開放された工場に一般の方が訪れ、ものづくりを体感できるイベントです。観光協会などが実施する銚起銅器や彫金、研磨などの産業体験にも多くの人たちが参加しています。製造工程の見学や体験などを取り入れた「産業観光」は、地域の観光資源の一つとなっています。



# 市の取り組み

## ◆デザインコンクール

燕市、燕商工会議所、日本金属洋食器工業組合及び日本金属ハウスウェア工業組合により、「美」「個性」「伝統」などを、新たな角度から追求する「生活文化提案産業都市」としての燕ブランドの確立と、豊かな生活文化の資質向上に貢献することを目的に、昭和52年から毎年、ジャパン・ツバメ・インダストリアル デザインコンクールを実施しています（平成24年度から現名称）。



## ◆ふるさと燕応援寄付金事業

ふるさと納税制度を燕市では「ふるさと燕応援寄附金」と呼び、寄付をいただいた方に対し、地域の特産品を「お礼の品」としてお送りしています。「お礼の品」には金属洋食器や金属ハウスウェア、酒器などもラインナップされています。これら「金属製品」を「お礼の品」として、市のホームページ等で公表することで、企業名、商品名等のPRになるとともに、パンフレット等を同封し発送することで、販売促進につながっています。

## ◆金属酒器で乾杯！推進運動の展開

市内の飲食店等への金属酒器の普及により、製造業や飲食業への好循環をもたらすと同時に、金属酒器に象徴される金属加工業を地域文化として確立することを目指して、市民・飲食業者・製造販売者・市が連携し、燕製金属酒器による乾杯の普及促進を図っています。



## ◆燕三条工場の祭典の開催

平成25年より、燕三条地域の工場が、一斉に工場を開放し、訪れた方々に工場でのものづくりを体験・体感していただくイベントを開催しています。

## ◆定住自立圏協定に基づく産業観光の推進

連携して定住自立圏構想を推進する弥彦村と、それぞれの強みを活かしながら、広域観光の推進に取り組んでいます。

